



2026年4月13日

各 位

会社名 株式会社 四 国 銀 行
代表者名 取締役頭取 小 林 達 司
(コード 8387 東証プライム市場)
問合せ先 総合企画部長 公 文 誠 之
T E L (088) 823-2111 (代表)

中期経営計画の策定

株式会社四国銀行（頭取 小林達司）は、2026年4月からの3ヵ年を計画期間とする中期経営計画を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 名称 中期経営計画 2026
2. 計画期間 2026年4月～2029年3月（3年間）

3. 概要

(1) 計画の考え方

10年ビジョン「地域と産業を牽引するベスト&リライアブル カンパニー」（2023年度～2032年度）の最終ステップにつなげる重要な期間と位置づけ、「変革の深化と当行の更なる成長」をテーマに中期経営計画に取組みます。

新中計では、営業店は地域・お客さまとの接点を強化し、お客さま価値の向上を徹底します。本部はそれぞれの高い専門性を発揮し、すべての本部部署が営業店支援を徹底します。

当行の最大の強みである高知・徳島を基盤とした広域店舗網を活かし、地域戦略に応じて接点強化をはかり、四銀スタイル（※）を発揮し、地域・お客さまの価値、当行の企業価値の向上を実現することを目指します。

(2) 戦略目標

【戦略目標Ⅰ】人的資本の強化

多様な人財の成長を地域・お客さま価値、当行の企業価値の向上につなげるため、人材開発・育成につとめ、人材力を強化します。加えてDE&Iや健康経営を意識した働きやすい職場環境を整備します。

【戦略目標Ⅱ】組織の変革

対面チャネルと非対面チャネルの両面からお客さまとの接点を強化するとともに、A I・デジタルの活用や全社オペレーション変革を通じて生産性を向上させ、お客さまとの対話の時間を創出します。

【戦略目標Ⅲ】四銀スタイルの発揮

四銀スタイルを発揮し、地域の発展と企業価値の向上、豊かな暮らしの実現に貢献していきます。

【戦略目標Ⅳ】当行の企業価値の向上

戦略目標Ⅰ～Ⅲに加えて、収益性や効率性の向上、リスク管理態勢の高度化などに取り組みすることで、当行の企業価値を向上させ、10年ビジョンが実現できる経営基盤を構築することを目指していきます。

4. 数値目標

(1) 財務目標

指 標		2026 年度(計画)	2028 年度目標
単体	当期純利益	86 億円	120 億円以上
	ROE (純資産ベース)	5.0%	6%以上
	自己資本比率	8.1%	8%台前半
	OHR (コア業務粗利益ベース) ※投資信託解約益を除く	56%	60%程度

(2) 経営基盤の強化に向けた指標

項 目		2028 年度目標
戦略目標Ⅰ	エンゲージメントサーベイ	AA以上
	戦略に応じた人員配置	累計 100 人以上
戦略目標Ⅱ	有効面談数の増加	2025 年度比 130%以上
	四銀アプリ利用登録者数	22 万人以上
	A I 活用による業務生産性の向上率	130%以上
戦略目標Ⅲ	地域課題の解決に資するプロジェクト 支援件数	累計 5 件以上
	新規事業創出 支援件数	累計 120 件以上
	事業承継・M&A 支援件数	累計 6,000 件以上
	ビジネスマッチング成約件数	累計 2,000 件以上
	預金+預り資産残高	3 兆 9,000 億円以上

5. その他

詳細の内容は当行ホームページを参照ください。

<https://www.shikokubank.co.jp/profile/chuki.html>

以 上

※四銀スタイル

四国銀行の営業指針であり、「Just Like Family!」な人財力をベースに専門的なコンサルティング能力を発揮することで、お客さまのお役に立ち喜んでいただくことを目指しています。